

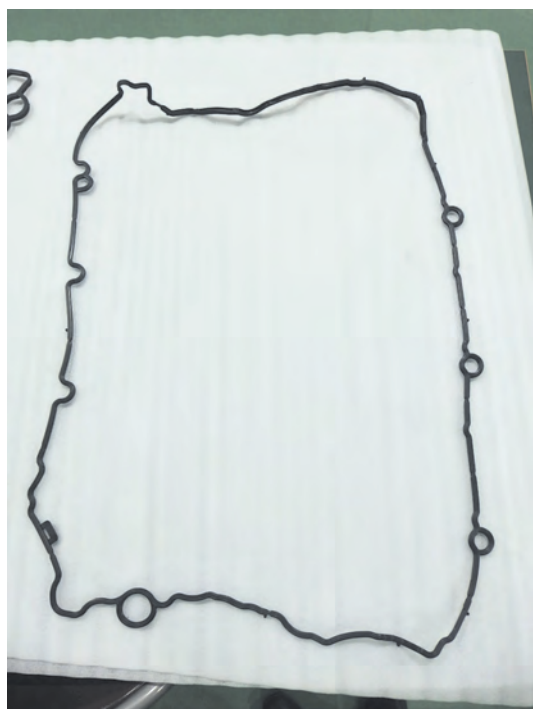
25年度補正



株式会社内野ケルン

車載エンジン用シールドパッキン（ガスケット） 金型の試作及び生産プロセスの確立

車及び産業用エンジン用パッキン製造分野では耐熱、耐圧力、流体、気体の漏れ、また外部からの異物の侵入を防ぐ高精度加工技術が求められている。今回、新鋭設備を導入し、長年培った精密部品加工技術や最新技術の習得により精密・複雑形状の試作開発を行い、自動車産業の発展に寄与すると考えている。



事業の背景と目的

自動車産業において日本企業は世界の最先端であり、現在も右肩上がりの成長を続けている。そんな中、弊社の既存得意先（自動車部品メーカー）が自動車のエンジンヘッドに取り付けられるシールドパッキン金型製作の外注先を探しており、当社のこれまでの実績・技術が認められ参入を促された。非常に高度な技術を要する分野で、同業他社にはまねのできない技術を取り入れられると判断し、試作・開発に取り組むことになった。

事業内容と成果

車載エンジン用シールドパッキン（ガスケット）金型製作に参入するため、新たな技術（Super-NURBS）を搭載したマシニングセンターを導入。シールドパッキン金型の試作を繰り返し行い、顧客が求める滑らかで高精度な金型を製作することができた。



立型マシニングセンター



シールドパッキン金型



取材風景（内野社長）

事業取り組み後の成果

平成27年の事業実施後、エンジン部品メーカーと試作開発や技術研修などを重ね、パッキン金型製作を正式受注した。その後、他の車種の試作依頼も徐々に増え、平成29年度はかなりの受注につながった。この間当該設備稼働に必要な技術研修も同時並行で実施したことで、従業員の品質向上に向けた意識レベルも数段上がった。

達成要因

当該事業の達成要因としては、①長年にわたる取引先とのパートナーシップの構築・支援 ②最適な受注案件の発生 ③補助金採択によるタイムリーな設備導入などが考えられる。特に、取引先が要求する品質基準への我が社の対応について、約3年間にわたる取引先での当社従業員のOJT教育が円滑な取引関係につながっている。

今後の取り組み

当該設備導入とタイムリーな受注案件の獲得により、車載エンジン用シールドパッキン（ガスケット）の金型製造に参入できた。今後は、この経験と設備・技術を活かし、軽自動車から大型車まで様々な車種のエンジン用や、エンジンの前面・側面など様々な形状のシールドパッキンの金型製造にも果敢に挑戦していきたい。

地球環境保全と事業活動の両立



当社の新規案件の取り組みは、比較的安定した受発注形態である自動車業界に的を絞り、より厳しい品質基準と難しい営業案件に挑戦しようとするものである。これらに臨むためには取引先が求める自動車の安全基準をクリアするため、さらに加工精度を上げて品質向上を図る必要があり、今後も引き続き設備導入や従業員教育に取り組むことが欠かせない。これまで培ってきた信頼と技術をもとに、取引先と連携して事業に取り組んでいきたい。

企業PR

1982年4月1日、出水市米ノ津町で内野製作所として創業。1986年、同市上原（現・美原町）に移転し有限会社内野製作所に法人化。1988年、同市下鯖町に移転。1996年、設立15周年を機に株式会社内野ケルンへ社名変更。2008年、同市緑町の沖田工業団地に移転。2018年2月、本社工場隣接地に工場を増設し、現在に至る。



事業者 株式会社内野ケルン
 代表者 代表取締役 内野 正
 設立年月日 昭和57年4月1日
 所在地等
 [本社] 〒899-0201
 鹿児島県出水市緑町50-12
 TEL 0996 (68) 0208 / FAX 0996 (68) 0209
 〈URL〉 <http://www.synapse.ne.jp/utino-kerun/>
 資本金額 2,000万円
 従業員数 37名
 業 種 金属製品製造業